

横浜市地球温暖化対策実行計画の改定について

1 趣旨

東日本大震災後の地球温暖化対策やエネルギー対策をとりまく状況の変化をふまえ、年度内に地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を改定します。

計画の改定について、4月17日開催の環境創造審議会に諮問し、地球温暖化対策実行計画部会（部会長：佐土原 聡／横浜国大大学院教授）においてご審議いただいています。

2 現行の地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の概要

(1) 位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ・「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく法定計画 ・温室効果ガスの排出抑制等のための施策を定める ・「横浜市地球温暖化対策地域推進計画（H18年11月改定）」の後継計画
(2) 策定・公表	平成 23 年 3 月
(3) 計画目標	温室効果ガスを、平成 2（1990）年度比で 平成 32（2020）年度に 25%削減、平成 62（2050）年度に 80%削減 （前提として電力の排出係数※は H19：0.425kg-CO ₂ /kWh → H32：0.33 kg-CO ₂ /kWh に改善）
(4) 取組例	【家庭】住宅や家電の省エネ化、省エネ行動推進、再生可能エネルギー普及 【業務・産業等】事業所における省エネ、再生可能エネルギー普及 【運輸】クリーンエネルギー車や低燃費・低排出ガスの普及 など

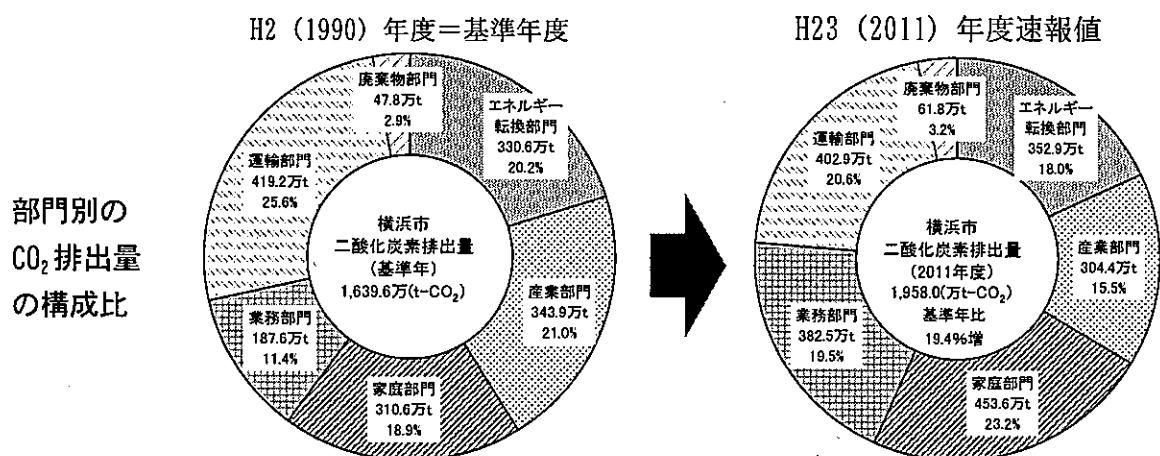
※電力の供給 1kWh あたりどれだけの CO₂ が排出されるかを求めるための係数

3 現状と課題

平成 23 年度の本市の CO₂ 排出量（速報値）は、人口・世帯数の増加や、業務ビル等の延床面積の増加、電力の排出係数の悪化などにより、基準年度比で約 19%の増となっています。

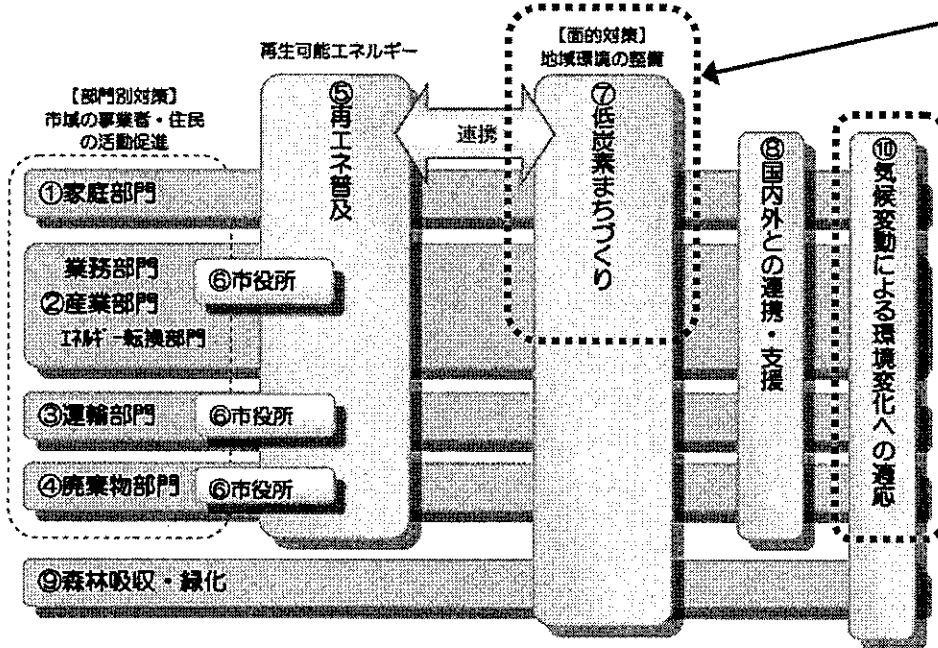
東日本大震災以降の状況変化を踏まえたエネルギーの最適利用や温室効果ガス削減目標を含め、より実効性のある対策・施策を検討・展開していく必要があります。

さらに、温室効果ガスの排出を抑制する「緩和策」をもってしても当面避けられない、気候変動による環境変化への対処として、「適応策」も求められています。



排出量の多い「家庭部門」や伸びの大きい「業務部門」の取組が重要

4-1 部会報告案骨子のポイント（枠組）



▼ 新たな視点（点線囲み部分）
 現在の取組の更なる促進とともに、部門横断の取組として新たに「低炭素まちづくり」及び「気候変動による環境変化への適応」を設定

4-2 部会報告案骨子のポイント（目標や対策・施策）

➤ 削減目標

- ・ 短期目標：2020年度、中期目標：2030年度、長期目標：2050年度の3段階
- ・ 実際の取組（いわゆる真水）で目標設定・進捗管理を行うこととし、電力の排出係数の改善及び国策としての海外からの排出枠購入の市域按分による削減効果は見込まない

➤ 対策・施策

温暖化対策がもたらす、社会インフラの優良化、防災性向上、経済活性化、健康増進など、CO₂削減だけにとどまらない様々な便益（マルチベネフィット）を考慮した持続可能な地域づくりの視点を取り入れる

新規拡充施策の例

家庭部門	既存住宅のエコリフォーム・エコリノベーション 区との連携などによる普及啓発施策の再構築
業務・産業部門	地球温暖化対策計画書制度の充実
低炭素まちづくり	エネルギーの面的・効率的な利用促進
気候変動への適応	豪雨を想定したハザードマップ、熱中症予防のための情報提供

5 今後のスケジュール（予定）

- | | |
|---------|--|
| 25年11月 | 環境創造審議会 第5回地球温暖化対策実行計画部会（部会報告とりまとめ）
環境創造審議会（答申） |
| 年内目途 | 計画素案作成、温暖化対策・環境創造・資源循環委員会説明 |
| 速やかに | パブリックコメント実施 |
| 年度内 | 新・実行計画公表 |
| （26年 3月 | 気候変動に関する政府間パネル（IPCC）総会 横浜開催） |

【参考1】横浜市環境創造審議会 地球温暖化対策実行計画部会 委員名簿

(平成25年8月末現在)

敬称略、五十音順

氏名	役職
あきもと たかし 秋元 孝之	芝浦工業大学工学部教授
いかが としはる 伊香賀 俊治	慶應義塾大学理工学部教授
かわの まさお ○ 河野 正男	横浜国立大学名誉教授
きたはら 北原 まどか	特定非営利活動法人森ノオト理事長
こばやし ひかる 小林 光	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授
こぼり ひろみ 小堀 洋美	東京都市大学環境学部教授
さとう かずこ 佐藤 一子	特定非営利活動法人ソフトエネルギープロジェクト理事長
さどはら さとる ◎ 佐土原 聡	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授
しみず やすえ 清水 靖枝	長屋門公園管理運営委員会事務局長
なかはら ひでき 中原 秀樹	東京都市大学大学院環境情報学研究科教授
むらき みき 村木 美貴	千葉大学大学院工学研究科教授

◎=部会長 ○=副部会長

【参考2】横浜市環境創造審議会 地球温暖化対策実行計画部会 の開催状況

	開催日	主な議題
第1回	5/9(木)	現行計画の取組状況と課題、部会での検討の視点
第2回	6/26(水)	市の将来像、温室効果ガス排出量の将来推計、対策・施策
第3回	7/30(火)	対策・施策、排出削減目標、進捗管理、気候変動への適応策
第4回	9/17(火)	対策・施策、排出削減目標、部会報告案骨子